

まちの話題



香美市合併記念事業を開催 多彩なイベントに多くの市民が参加

香美市合併を記念するメイン事業が昨年十二月二日に開催され、『ウォーキング大会』や『コスケ2006』などのイベントに市民らが多数参加しました。

『ウォーキング大会』は、早朝より物部町をスタートしゴールの秦山公園をめざす全長約三キロのコースで行われました。参加者は、物部川沿いを歩き、豊かな自然、のどかな風景を楽しみながら、ゴールをめざしました。また、香美市のキャラクターが描かれた桃太郎旗が、百七十二人の参加者でリレーされ、香美市をつなぐ旗も無事ゴールに到着しました。



コスケに挑戦する子どもたち

秦山公園子ども広場で行われた『コスケ2006』には、百一人の児童らが参加しました。広場の地形や遊具を使ったさまざまな関門をクリアしてタイムを競う競技に、子どもたちは懸命に挑戦していました。

このほか、いざなぎ流舞神楽や山田太鼓などの『芸能祭』、香美市にちなんだ出

「ものべ」の歴史・文化・伝統を体験

香美市の合併を記念して『奥ものべまるごと体験』が昨年十一月十二日に開催され、三つの体験コースに六十五人が参加しました。塩産地の香南市赤岡町と香美市物部町を結び、明治時代中ごろまで使われた産業道を歩く『塩の道ウォーキ



ウォーキングの道中では楽しいもてなし

『ふれあい木工教室』（主催『平山木工クラブ』）が昨年十二月三日に平山木工所（土佐山田町平山）で開かれ、小学生から大人まで二十人が参加しました。参加者は、地元の間伐材を利用して作品づくりに取り組み、木工クラブの方に指導してもらいながらも参加者自らが設計し、機材を使って形を整えて本立てや小物おきなどの実用品を完成させていました。参加者からは「地元の方

夢中になって作品づくり 平山で木工教室

ング、物部町で古くから守り伝えられてきた国指定の重要無形民俗文化財を体験する「いざなぎ流舞神楽と御幣切り」、物部町神池地区をめぐる歴史と伝説を訪ねる「石仏と巨樹・古木めぐり」のそれぞれのコースで参加者は、地域の人々の温もりに触れながら物部町の歴史・文化・伝統を体験していました。

機材を使いオリジナルの実用品を製作



に丁寧に教えてもらえて楽しかった」「またこの木工所でのいろんなものを作ってみたい」などの感想もあり、大変好評でした。



塩の道ウォーキング



体いっぱい使って合唱

香美市の児童生徒が心を一つにして合唱

「第一回香美市小中合同音楽会」が昨年十一月二十六日に山田小体育館で開催されました。

音楽会は、市内の全小中学校十三校の代表が一堂に会し、合唱や演奏を披露し合うもので、精いっぱい練習の成果を發揮する児童生徒に、たくさんのお客が詰めかけた会場全体から盛大な拍手が送られていました。また、最後には全員で合唱し、香美市の子どもたちが心を一つにして歌い上げていました。

統計指導員・調査員として長年にわたり尽力された井上長子さん、濱崎智子さん、山岡芳さん、小松直人さん、また、事業所として調査協力等、多大な貢献のあった(株)豊中技研が、功績を認められ表彰されました。

平成18年度統計功績者表彰

「平成十八年度統計調査功績者表彰伝達式」が昨年十二月六日、高知会館（高知市）で開かれ、香美市では四人と一団体が表彰されました。



高知会館で開かれた表彰式

古川明男さんが県知事表彰を受賞



古川明男さん

民芸や伝統産業の承継に功績のあった方に贈られる

久次公園で記念植樹

記念植樹

昨年十一月二十四日、土佐山田町の久次公園で、地元住民と香長小学校の全校生徒七十五人がツツジなど三百三十本を植樹しました。このイベントは、公園が地域の憩いの場となるような環境づくりを目的に、森林環境税の助成を受けて行われました。

植樹の前に、久次自治会長長の渡辺益喜さんが「皆さんが呼吸するのに必要な酸素は森が作っている。人や動物の命を守るためにも森や木を大切にしなければなら

平成十八年度高知県産業技術功労表彰（知事表彰・商工業部門）を古川明男さん（土佐山田町神母ノ木）が受賞しました。

古川さんは、土佐打刃物のブランドを表す刻印、彫金の道一筋に打ち込み、その技術は全国的にも大きな評価を受けており、また、伝統技術の承継にも尽力されています。



香長小児童がツツジを植樹

らない」と話し、森の必要性を子どもたちに訴えました。その後、子どもたちは環境学習の一環でツツジの木に肥料と土を丁寧にかけて、住民の方たちとともに作業を行いました。

暴力団組員に生活保護認めず

昨年十一月一日、香美市と香美警察署は、生活保護制度から暴力団を排除する確認書に調印しました。

今後、受給申請者の言動などから暴力団員と疑われる場合は、警察署に照会し身元調査を徹底、暴力団員と分かれば原則として、申請は却下となります。また、現在受給中のケースでも、警察署からの情報提供に基づき保護が廃止されるなど、生活保護費が暴力団の資金源とならないよう、行政・警察が相互に連携することが確認されました。



市と警察が連携を確認

大宮小学校で気象予報士による環境学習実施

昨年十二月六日、香北町の
大宮小学校でNPO法人「気象キャスターネットワーク」の福田寛之さんによる
出前授業が行われました。
今回授業を受けたのは五年生四十五人で、「地球温暖化について考えよう」をテーマに、地球温暖化の仕組みについての実験や最近の異常気象などについて学習しました。最後に、福田さんから「地球温暖化の原因となる二酸化炭素を減らして



地球温暖化の仕組みを実験

いくために、身近なことでできることをしていこう」との呼びかけに、児童は元気に「はい」と答えていました。

体験・実験をとおしてエネルギーを勉強

エネルギー教育実践校の指定を受けている舟入小で昨年十一月二十三日、「エネルギー環境フェスティバル」が開催されました。
当日行われたエネルギー講座では、県企業局職員、工科大教授などが講師となり、自転車をこいで発電したり、空気をこいばつ作りな



自転車をこいで発電実験

ど体験・実験をとおしてエネルギーの仕組みや不思議を楽しく勉強していました。

かがみの育成園が楠目小にブルタブを寄贈

昨年十一月二十二日、かがみの育成園（知的障害者更生施設）が、収集したアルミ缶のブルタブを楠目小エコクラブへ寄贈しました。同園では、市内の量販店などから集めた空き缶をつぶす作業を行っており、二年前からブルタブの収集も始め、集めたブルタブを「何か役立てたい」と考えていたところ、楠目小エコクラ



大量のブルタブを寄贈

スポーツニュース

第1回香美市ナイターペタンクリーグ開催

昨年十一月六日から二十二日までの間、香美市香北総合型競技場で第一回香美市ナイターペタンクリーグが開催されました。ペタンク初体験の初心者を含む十二チームが参加し、熱戦を繰り広げました。結果は次のとおりです。

ブがブルタブ収集で福祉施設へ車椅子を贈る計画していることを知り、今回、寄贈されたものです。エコクラブでは、児童の家庭や地域の協力で七年以上前からブルタブ収集を始めたものの、これまでに集まったブルタブは約一四〇キログラムでした。今回三五八キログラムが寄贈され、目標量の八〇〇キログラムに近づくことができました。ことに、児童らは「ありがとうございます。これからもお礼をお願いします」とお礼を述べていました。

第1回香美市軽スポーツ大会

ビーチボールバレー（十一月二十三日・二十四日、山田小体育館ほか）
女子の部優勝〃香長A、同二位〃ミラクルA、同三位〃コスモス
男子の部優勝〃ミラクル、同二位〃香長、同三位〃楠目

優勝〃香北アルバトロス
準優勝〃みなくるくる
第三位〃はくじゅそうかな

マレットゴルフ（十一月二十三日、土佐山田マレットゴルフ場）
優勝〃南場計佐清、二位〃西村賀喜、三位〃柴田達男
グラウンドゴルフ（十二月二日、鏡野公園ほか）
小学生の部優勝〃奥宮春道（片地小）、同二位〃岡村侑（片地小）、同三位〃舟谷秀和（片地小）
一般の部優勝〃尾立孝夫（香長クラブ）、同二位〃古井正明（香長クラブ）、同三位〃和田耕作（香長クラブ）



【短歌】

楠瀬 兵五郎 選

肉桂と識る児する児いあらず山の神の祠はその枯葉載す
 はらからも幼友も無き歳となり施設に出来し友のうれしき
 育てたる月下美人に支えられ痛み忘れて見入る白花
 鳥の囀り川のせせらぎきながら戦なき世に生きる幸せ
 二度咲きのブーゲンビリアは華やかに広げし枝葉風に吹かるる
 部屋隅に活けし木犀そばに置く帽子に金の花びらの散る
 ラジオよりコスモスの歌流れをり田のコスモスも盛りだらうか
 姉に送る片便りにて癒されおりつなげる糸も今日の知らせに
 団塊の吾子職退く日近づきて一反ニラの作付ふやせり
 秋野菜青々といつもより育つ庭かこむ木の花と調和するがに
 大和路に初に見たるは三十年余泡立草憎しと近江の人等
 酸素吸入つけてゆるやかに草刈る人手元確かに病むとは見えず
 そこかしこかし祭りの後残しゲートボールの鏡野公園
 父に覚えのなきわが娘海わたり六十年の慰霊祭に行けり
 カージナルス優勝といふ赤き鳥数多遊びし夏のかの鳥
 ひこばえの田圃とび立つ雀らは整列しゆく瓦の棟に
 布拾ひ「もともとこれはなんじゃった」三才九ヶ月の女の孫は言う
 ハワイ行き楽しみにする孫達は吾に課したりノルマ五千歩
 いただきし花瓶のケナフは朝早く花の開きて我を見送る
 炭疽病に弱きを知れど「紅ほっぺ」味に姿に魅せられし果て
 各地区に別れて競う運動会昔の選手われは三等
 事運びくつたくもなく帰らむと手招く汝に堤を走る
 わが裡に言へざる思ひ一つあり秋雨はわづか土を潤す
 久しぶりと車椅子の人に人ら寄り西に傾く日は茜色

大岸由起子 山崎みどり 森安 花恵 大久保 操 岡崎 和枝 尾立 かよ 和田 利衛 門田 喜美 蓮池 和子 横田直加子 鍵山 みつ 竹村 稔美 伊藤 清子 田村 房子 都築 初代 秋山 正美 古谷 由美 大石 信子 佐々木真理 小野川恵仁 公文多賀子 坂上のぶ子 小松もとみ 三宮のり子

夫の祖父建てたる家は忽ちに変身をしてバリアフリーの家
 延命を願ひて歩く遍路道ほほえむ母を取り戻すべく
 わが口が万歩計となりていて畑打つ時も数えておりぬ
 久々に店頭の寿司味わえり母の料理を思い出すとき
 星くづと競ひ合ふやに光り来る夜間飛行は西に東に
 姥ヶ滝千々に分れて流れ落ち風に吹かるる白髪とも見ゆ
 弟と来る奥津城物部川の流れの覚えて母十五年祭
 踏み跡の続く山道細々と踏まねば絶ゆる道といふもの
 一面にアンパンマンキャラクター描くバス客を欲しげに峡を走れり
 指先のかさつき覚ゆる候となりクリーム塗りて明日に備ふ
 病院の長き廊下をひそやかにわたる風あり午睡の時間
 もみぢ葉を手折りにゆかむ病室の遠出かなはぬ友を想ひて
 これといふ灯りは自販機のみにして故郷のバス停に降りる人なし
 幻のごとく片栗の咲ける道息をころしてシャッターを切る
 一隅を照らす人にぞなりなさい恩師の言葉おりおり思う
 幾度か迎えし夫の命日を一人数うる年重ねたり
 心よく孫を抱かしてもらう為煙草止めしと言えり息子は
 山畑にエンジンひびき向う山に鹿啼きおりて秋の陽は充つ
 後幾年現役として暮せるか今日も柚子畑に一日を過す
 庭木より長く伸びたる蜘蛛の糸織りなす光にとけゆく悩み
 紀尾伊坂行けば間近く凜として迎賓館のたたずまいあり
 落葉はく箒を止めてふと思う馬車馬のように生き来し日々を
 空の青衣の青が溶け込んで山田恋唄編み笠ゆるる
 月の色溜めある上臈ほととぎす夜を込めにつつ語りてゆかな
 わが身には一筋の川流れをりさざ波の日も怒涛の日もあり
 直線に延びて何処に尽きなのか道は単調にして異国の感じ
 連れ立てばたのしき五人あせ道の秋の光にひびく笑ひも

森本真理子 前川 竜女 小原 子川 小野寺朱実 大石 綏子 門田 明子 北村佐喜子 高橋 章 公文 正子 武内 弘子 竹村 咲子 出原 久子 古川 安子 松中 賀代 山崎 貴子 久米 千代 小原寿寿代 山崎かつみ 坂本 好 谷内 務 公文 千恵 吉本 悦子 法光院俊子 町 耿子 山下 弓枝 佐竹 玲子 楠瀬兵五郎

俳句・短歌の応募は、企画課内広報委員会事務局まで。